

北海道定置漁業協会主催「秋さけ祭」に水産会も応援

北海道定置漁業協会主催の「秋さけ祭」が10月6日、札幌駅南口で開催され、会場には道内の秋さけの主産地の漁協や定置漁業者団体がブランドサケや加工製品をPR販売。主催者側では約4千人の来場者との事で、午前11時から「ミニいくら丼」や「秋鮭鍋」を各500食無料提供。来場者は長蛇の列をつくる程の盛況振りでした。

北海道水産会も秋さけを含め、魚食普及事業に力を注いでいることから、この日は高橋副会長ほか2名の職員も水産会のエプロンをまとい、「秋さけ祭」を盛りあげようと応援にかけつけました。

写真は、「秋鮭鍋」を振る舞う本会女子職員と水産会のエプロン姿の高橋副会長とひやま漁協の斉藤副組合長。

